

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2277102071 | | |
| 法人名 | 株式会社 アイケア | | |
| 事業所名 | グループホーム あいの街高塚(東ユニット・西ユニット合同) | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市南区高塚町4514-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年9月26日 | 評価結果市町村受理日 | 平成26年12月10日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kai.gokensaku.jp/22/index.php?action=kouhvu_detail_2014_022_kami=true&jiyosyoCd=2277102071-008&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成26年10月10日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で、孤独感、孤立感の思いを与えず、いつも笑いに溢れるコミュニケーションを図り、安心して暮らし続けられるよう心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人第一号のグループホームとして開設10年を迎えました。来客の迎え、見送りには礼節に笑顔を含めた挨拶があり、脈々と受け継がれてきたホスピタリティを感じます。プランターの花やレクリエーション、外出行事は委員会や役割分担を決めずに得意分野を活かしており、フラットな職員関係とボトムアップで盤石な組織を築いています。月に一度の外出支援では利用者個々の「～へ行ってみよう」の言葉に耳を傾けて想いに応え、ターミナルケアにも法人の心強いバックアップ体制があり、培ってきた信頼はホテル会場を貸し切って行われる総勢50余名の家族会と「ここに決めて良かった」という言葉に表れています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝、朝礼にて社是、および施設理念を唱和し実践につなげています。本社より配布される『職場の教養』を読み上げ、職員が気づきを得るように努めています。 | 理念と『職場の教養』を読み上げ、朝礼で気持ちを切替え緊張感をもって業務に臨んでいます。先輩を手本とする若い職員や礼節をわきまえた接客マナーから、管理者は“誇りを尊重し安心して暮らせる支援、の浸透を感じています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 自治会のクリーン作戦への参加、地域行事の見学、中学生の職場体験学習の受け入れを実施しています。散歩時に近隣のオープンガーデンに寄らせて頂いたり、地域の住民と挨拶を交わしたりしています。 | 地域の祭りで屋台が立ち寄り、演芸披露場所として休憩所にも利用されています。玉葱の収穫に呼んでもらったり単独外出の見守りにも心強いサポートが得られ、10年の歳月に積み上げた交流が開花しています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 施設イベント(敬老会、消防訓練)の時、地区の代表者に参加を依頼しています。そこで出た意見など職場会議で報告し、話し合いをしています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1度運営推進会議を開催しています。施設での取り組みや事例などを写真を交えて報告して参加者から広く意見を頂き、職場会議で検討し改善するように努めています。 | 市、自治会長、民生委員、家族代表をメンバーに定期開催し、スライドを使ったわかりやすい活動報告があります。防災モデル地区となっている自治会長からの助言や事故報告と対応策に至るまで豊富な意見交換を議事録から確認しました。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議の案内などで、行政窓口に向かうようにしています。個別事例によっては行政担当に意見を求めることもあります。また運営推進会議の中で事例として話し合いをします。 | 運営推進会議のお知らせと議事録は毎回窓口まで届けています。市主催の研修に出席し困難事例の相談に応じてもらったり、毎月来所する介護相談員からは作品作りや看取りへの励ましの言葉があり、職員と利用者の拠り所となっています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 自動ドアの電源を切って手動にしてあるものの、夜間帯20時～翌朝7時を除き、基本的に玄関の施錠はしていません。エスケープが発生した場合の連絡体制や対処方法などは職員内で統一するよう努めています。また定期的に身体拘束について職場会議にて話し合いを実施しています。 | 法人研修で知識を学び、内部研修に落とし込んでいます。スピーチロック削減を職場会議で話し「座ってて」の言葉を控え見守りに統一したことで歩行が可能になった人もいます。入居間もない利用者の単独外出が続いたケースでは都度具体策を講じて迅速な対応をしています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 行政主体の研修などに積極的に参加して職場会議で話し合いをしています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見人制度を活用されている入居者様があります。職場会議を通じ話をしています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約内容については一通り説明させて頂き、不安や疑問点を尋ね、理解・納得をして頂いたうえで締結しています。改定の際は書面にて報告し理解を頂いています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 浜松市より介護相談員が定期的に訪問し、ご利用者様の話をきいて下さる。運営推進会議や家族会など、ご意見、ご要望をお伺いする機会を設けています。 | 運営推進会議には輪番で家族代表が出席し、介護相談員の来所を心待ちにする利用者もありません。年に一度の家族会では食事を交えて和やかな中で意見を聴き取っています。脳トレや缺を使ったクラフトの要望があり、ケアプランに連動しています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月に1回、職場会議を行い施設運営方法や家族、地域からの意見、提案に対し、議論する場を設けています。また年に2回ほど、懇親会を開きリラックスした雰囲気の中で意見交換する機会を設けています。 | 全職員が集まる職場会議ではレクリエーションや外出、事故対応策について話し合い、介護技術や知識の研鑽に向けチーム全員で考える風土があります。委員会や役割分担に頼らず、職員の得意分野を活かした組織が形成されています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職場環境、労働条件などは、施設では決定権がなく、課題が発生するたびに本社へ報告、連絡、相談をしています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新入社員(中途採用含む)は社内新人研修へ参加します。管理者は認知症実践者研修へ参加しました。社内で月1回に行われる研修会へ参加し、職場会議にて報告し、話し合いをしています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 行政主催の研修、医師会主催の講演会に参加しています。ステップアップセミナーなど | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の事前アセスメントを基本として、入居後の心身状況などの変化を観察し、その時に出たニーズを職員間で話し合い、改善するように努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の事前アセスメントの際、家族の思いを聴き、不安なこと、心配なこと、要望など、ひとつひとつ改善するように努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | まず、ご本人やご家族の意見や要望を聴いて、その時に適したサービスをご提案させて頂き、了承を得ています。その際、サービスの優先順位やデメリットなどもお伝えしています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 出来る事はご本人にして頂いています。洗濯干し、洗濯たたみ、居室の掃除など自立支援に繋がるケアになるように努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 月に一度『あいの街便り』を発行し、施設での様子をお伝えすると共に、施設での様子を写した写真を送付しています。面会時に職員よりご家族へ日頃の様子や変化などをお伝えしています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 身内、友人、近所、会社関係などの人が気軽に面会にきていただけるような、雰囲気づくりに努めている。また、ご本人の在所・仕事場周辺までドライブしています。 | 心地よい笑顔の出迎えは、家族だけでなく多くの親戚や知人を引き寄せています。気分転換として定時の散歩を習慣にする人をサポートしたり、毎年恒例の温泉旅行や自宅への外泊を楽しむ人もあります。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 気の合うご利用者同士は、その関係が継続できるように支援し、孤立しやすい方には職員が間に入り声掛けして、集団生活に馴染めるように努力しています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご本人、ご家族からの相談は、随時、受けられるようにしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | サービス計画を作成する際に、経過記録から本人の言動を収集、また直接ニーズを聴いています。モニタリングを行い計画に反映しています。その都度、職員間で情報共有に努めています。 | 再アセスメントとして計画的な機会は設けていませんが、職員からの声かけの頻度とアプローチが重要と捉えています。日頃の会話や表情の変化から得られた想いと本人の言葉を『連絡ノート』に記載してケアに反映させています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 前任のケアマネージャーや包括支援センターなどから得た情報、入所前の事前アセスメントで得た情報をフェースシート、アセスメントシートにまとめ、職員間で情報共有に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 経過記録、申し送り、連絡ノートを用い職員間で情報連携に努めています。また、日々のバイタルチェック、食事量、水分量、排泄、服薬確認の記録をしています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人、家族からの情報、希望を聴き、介護計画に反映しています。職員は担当者会議にて意見を出しています。介護計画は内容を家族に説明し確認しています。 | 職場会議でのカンファレンスにケアマネージャーが同席して意見を集約しています。プランは個人ファイルに綴じて周知し、水分・食事摂取量や排泄、サービス内容を織り込んだ『利用者管理表』に記録して実践に繋げています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常の様子、食事量、水分量、排泄をチェック表に記録し、ケアプランの実行に活用しています。職員が、気づいたことがあれば連絡ノートに記入するようにしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 外出支援(無料、有料)など、ご本人の希望をお聴きし、数人単位で外出をしています。また家族の希望から脳トレ、ハサミを使ったレクリエーション、針仕事などを室内レクリエーションに取り入れています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|--------------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地区や市内、個人のボランティアをお呼びして、楽しく過ごしています。また、施設前にある寺院や、近所のオープンガーデンなど利用させて頂いています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人または家族が希望する主治医を決めています。受診・往診の際に、施設での様子を伝え適切な医療を受けられるように支援しています。 | 月に2回協力医による往診があり、『診療録』を通じて情報共有されています。かかりつけ医への受診は家族にお願いし必要に応じて職員が同行しています。誤薬、飲み忘れ防止のために名前、空袋のチェックを徹底しています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 弊社の看護師が定期的に訪問しています。申し送りや看護師用連絡ノートで情報を共有しています。必要に応じて、主治医、ご家族と相談のうえ受診を勧めてさせて頂いています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した場合は、経過、症状、治療状況を看護師やご家族に確認しています。退院前もアセスメントを行いご家族、看護師との連携に努めています。必要に応じ病院内での担当者会議を依頼しています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に、ご家族に延命の希望有無を確認し、主治医と連携を図っています。終末期における緩和ケアなどもご家族、主治医と相談しながら対応を進めるようにしています。 | 食事が減った時点で家族と相談し、希望がある場合は看取りに取組む態勢にあります。現在ターミナルを迎えた利用者があり、勤務シフトの変更をはじめ医師や訪問看護、家族と連携し終末期を支えています。法人のサポートが整い、職員の不安も軽減されています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 数名の職員が救急救命講習を受けています。社内における施設系の研修にて、計画的に未受講の職員が受講する予定です。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回避難訓練を実施しています。地区代表者に参加依頼を行い、消防署と連携した訓練を行っています。日中を想定した訓練、夜間を想定した訓練を行っています。 | 消防署職員、自治会長、民生委員立ち合いのもとアドバイスをもらったり、地域防災訓練に参加して協力体制を築いています。昼夜火災想定訓練が中心ですが、発災を近隣に知らせるメガホンの提案があり購入に至っています。 | 防災面から事業所内部を知ってもらう機会が設けられることを期待いたします。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | その時に応じたコミュニケーションを図りつつ、その方の生活歴、職歴を背景に、目上の人として尊重する態度で接するように心がけています。 | 終の棲家でもあり“家族、という気持ちで接していても、お客様としてのマナーを重視した接遇研修を行っています。呼称は生活歴、職歴を参考に本人にとって快いコミュニケーションが図れる呼び方としています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 遠慮や失語などで要求を伝えにくいご利用者様がいます。普段の様子から職員が気づきを得て声掛けするように努めています。また複数の選択肢をつくるなどして自己決定できるように努めています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本の希望に沿って支援できるように努めています。入浴や散歩、飲酒(ノンアルコール)などの要望なども柔軟に対応するよう努めています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 月1で希望者は、訪問理美容を利用しています。女性は外出レクレーション時にメイクをしています。自己決定が可能な方には洋服や髪形など決めて頂いています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ご利用者様の食べたいもののリクエストを受け食事を提供したり、近隣の飲食店に外食に出かけたりしています。生活リハビリの一环として、盛り付けや後片付けなどお手伝いして頂くように心がけています。 | 栄養としての食事よりも家庭的な料理を旨として「食べたい」気持ちに応え、職員が交代で調理をしています。おやつも餡子やフルーツ、芋、南瓜を使った手作りとし、賑やかに鉄板焼きやカステラ作りを行う日もあります。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 禁忌や好き嫌いを把握し、ご利用者様全員が召し上がれるように献立を工夫しています。バランスの良い食事を提供し、食事量、水分量の把握に努めています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行い、ご利用者様にあったケア(見守り)を実施しています。必要に応じて歯科受診をご家族に提案しています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック(時間、量)しながら、トイレのお声かけや、排泄介助をしています。なるべくトイレで排泄して頂けるように心がけています。 | 日中はトイレでの排泄を基本としています。チェック表を参考にしてタイミングをみて食事や散歩の前に声をかけたり、立ち上がる、もぞもぞするといったパターン行動から排泄の意思をキャッチして失敗のないよう支援しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 十分な水分摂取、繊維質を含む食事の提供に心がけています。主治医と連携をとり下剤を処方して頂く場合もあります。毎朝、毎夕にリハビリ体操を実施しています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴しない日が継続しないように声掛けています。本人の希望を優先し順番などは決めずに入浴して頂いています。 | 曜日を決めず体調や気分に応じ週3日を目安にしています。拒否には「お風呂」との言葉を使わず、青や緑、オレンジ色の入浴剤が入った浴槽を見せたり、朝から入浴日であることを伝えて意欲を高め、「快、の気持ち誘っています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活リズムを崩さないように就寝時間は各人に目安があります。今までの生活習慣を維持するため布団で臥床する方もいます。室温、湿度には気を配るように心がけています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋は職員が自由に閲覧できるようにしています。症状の変化を見逃さないように注意し、必要に応じて主治医と連携させて頂いています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 掃除、盛り付け、食器拭き上げ、配膳、下膳、洗濯干し、洗濯たたみ、針仕事など、各人が得意とするものを手伝って頂いています。また、訴えがあれば、喫煙、飲酒(ノンアルコール)も行います。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | ご本人の体調や、天候を考慮し、出来るだけ散歩に行くように心がけています。月1回ペースで外出レクリエーションを企画し季節感が味わって頂けるように支援に努めています。 | オープンガーデンをコースに入れた散歩が常となっています。回転寿司やコンコルドビュッフェでの外食をはじめ大勢で出かけるガーデンパーク、佐鳴湖へのドライブから、家族との思い出の場所を巡ったり「魚が見たい」という個々の声に応える企画も盛り込まれています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的には、金銭は施設が管理させて頂いています。但、本人、家族の希望でお金を持つことで安心する方には少額を所持して頂き、職員が確認しています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 家族や友人から届いた手紙に返信したり、ご本人、ご家族からの要望があれば、ご自分で電話をかけられるように支援しています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間は清潔感を保つように努めています。ホールには季節ごとにご利用様と作成したクラフトを展示しています。玄関からは季節ごとに変化する寺院の庭を楽しめるようベンチを用意しています。 | 手入れの行き届いたプランターの花々がベンチに腰掛ける利用者の表情を和ませ、壁一面の稲穂のぬり絵は圧巻で郷愁を誘います。夜勤者、早番と担当を決めて清掃を徹底しコンタクトポイントは次亜塩素酸を使った消毒を欠かしません。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ホールには和室、ソファ、テーブルがあり、玄関内外に椅子を用意しています。ご利用様が、各々思い通りに過ごせるように努めています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人やご家族と相談し、入居時に使い慣れた家具類を持参して頂いています。入居後はご利用様の状態などに応じて配置換えもします。 | 使い慣れたベッドや布団が持ち込まれ筆筒、テレビ、冷蔵庫といった調度品と、安眠を誘う枕や人形、細々と並べられた小物にその人らしさが垣間見えます。洗面台、クローゼット、エアコン、カーテンが備え付けです。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 表札を作成し、自室がわかる様にしています。テーブル席もできるだけ動かさないようにしています。ご利用様の状態に合わせ歩行補助器を活用しています。 | | |